

議 事 要 旨

【日 時】平成28年8月3日（水）19:00～20:30

【場 所】佐世保市中央保健福祉センター6階研修室1

【出席者】委員5名（※前村委員、安部委員は欠席）

（事務局等）塚元保健福祉部長、吉崎医療政策課長、尾崎医療政策課主幹、石岡主任主事

東山理事長、田中事務部長、前田看護部長、岡本看護副部長、富本経理課長

（北松中央病院）東山理事長、田中事務部長、前田看護部長、

岡本看護副部長、富本経理課長

（佐世保市総合医療センター）小村次長、井原財務課長、吉浦経理係長

■議題①北松中央病院平成27事業年度の業務実績に関する評価について

◆ 評価の実施要領（案）について（「資料（1）-③」に基づき事務局から説明）

※法人による自己評価及び評価委員会による評価を小項目ごとに5段階評価、小項目の評価等を考慮し、大項目ごとに5段階評価と記述式の評価という方法で行う。

◆ 評価案について（「資料（1）-③、④」に基づき事務局から説明）

※小項目評価における法人の自己評価と事務局の素案として作成した評価委員会としての評価案を比較しながら、項目ごとに評価案を検証し、総合的な評価案についても説明。

◆ 委員からの意見・質問とそれに対する事務局・病院の回答

※委員長の提案により、主に、小項目評価ごとに、病院の自己評価と事務局作成による評価委員会の評価案の異なる項目を中心に意見交換することとした。

◆ 平成27年度の事業実績の評価結果について

全体評価

「住民に提供するサービス及びその他の業務の質の向上に関する事項」、「業務運営の改善及び効率化に関する事項」は「C」評価（中期目標・中期計画、年度計画の達成に向けて概ね計画どおり進んでいる）が妥当であると判断された。また、「財務内容の改善に関する事項」は、入院・外来患者数の減などの要因により平成26年度実績と比べ全体的に平成27年度実績値が低下した中、純利益においては平成27年度目標である290万円をはるかに上回る2,485万円の黒字化を達成し、また、安全性についても指標的に理想とされる数値を上回っており、安定した健全経営が行われていると判断し、「B」評価（中期目標・中期計画、各年度計画の達成に向けて計画を上回ってすすんでいる）が妥当であると判断された。

大項目評価

1 住民に提供するサービス及びその他の業務の質の向上に関する事項

小項目の10項目中9項目がC評価とされ、他の1項目がD評価と判断されました。総合的に判断して、概ね計画どおりに進んでいることがうかがえ、C評価が妥当と判断された。

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

5項目中全項目がC評価であり、全体的に見ても概ね計画どおりに進んでいると言え、C評価が妥当と判断された。

3 財務内容の改善に関する事項

平成27年度においては、入院・外来患者数の減などが主な原因となり、平成26年度実績と比べ全体的に数値等が低下したかたちとなっているが、経営努力により純利益が平成27年度目標である290万円をはるかに上回る2,485万円の黒字化を達成し、また、安全性についても、指標的に理想とされる数値を上回っており、安定した健全経営が行われていると判断し「B」評価とした。

◆評価委員会各委員のおもな質疑・意見

医療水準の向上・収益性の確保と費用の節減

○地域包括ケア病床を設置した理由は何かあるのか？

「北松中央病院」 10対1看護基準の場合、平均在院日数は21日未満にしなければならず、高齢者が多い中、リハビリの重要性が増していることもあり、地域包括ケア病床を増やした。今の平均在院日数の算定の中では、地域包括ケア病床に移行した時点で退院扱いになることもあり、平均在院日数の減少にもつながっている。

特定健診について

○特定健診について住民が受けたも受けられない状況なのか。それともニーズがないのか。

「北松中央病院」 ニーズがない訳ではない。しかし、当院の医師充足率は8割程度であり、運営病床の7割を下回ると返還金が生じてしまうため、特定健診に人員を割くことが出来ない状況である。

救急医療について

○救急搬送が年間で538件とあるが、どの地域からの搬送が多いのか？

「北松中央病院」 距離的に近いため江迎地区や吉井地区などが多い。近年では平戸から直接来院されたり、田平から平戸の救急車で搬送されたり、松浦等からも搬送されている。

効率的な運営管理体制の確立について

○看護師の離職率3.7%とあるが、これは想定範囲内か？また、離職数は定年を含まない数値か？

「北松中央病院」 定年を含んだ離職数である。離職率については比較的低い数値のはずである。

北松中央病院は内科系病院であり、外科の手術等での対応が無いので、残業が少なく、時間内に退勤できる。そのため家庭を持つ看護師からは働きやすいという評価を受けている。また、ベテラン看護師が子育て世代の看護師をフォローする体制が出来ていることも職員満足度の向上に寄与していると思われる。(子どもに熱が出た際にベテラン看護師が急きょ交代してくれる等)

「事務局」 参考だが、総合医療センターの離職率は8%以下である。

財務内容の改善について

○流動比率が▲96.8%という結果について、決算書から見えず内容が解らない。B評価とされているが、目標を上回ればよいということか。この点は説明が必要かと思う。(評価結果案の修正意見としたい)

≪北松中央病院≫平成27年度に起債(長期借入)事業で、MRIと貯水槽の更新を行った。更新時期が3月末であったため、タイミング的な問題で会計上未払金として負債計している。現在は支払いを完了しており、流動比率も回復している。

■議題②北松中央病院平成27年度財務諸表の承認について

◆平成27年度の財務諸表の承認について (事務局 ※資料(2)③~⑨に基づき説明)

財務諸表の承認にあたり、合規性の遵守および表示内容の適正性に関して、評価委員会からの意見を求めたい。本市としては、事務局において各諸表の各内容について確認したところ、適正に処理されていると判断できるので、申請どおり承認することとしたい。

◆委員長による各委員の承認確認 【意見なし】→【財務諸表の承認】

◆委員長 本委員会としては「意見無し」とする。

今後についての確認

本日の意見を反映し、修正案については最終的に委員長に一任することを確認。
委員長及び意見を頂いた宮地委員にも確認いただき、確定した評価結果を各委員へ送付する。

◆次回評価委員会について

〔※次回評価委員会においては、北松中央病院の第4期中期目標の期間の終了時の検討に係る意見、第5期中期目標(案)の審議を行う予定としている。〕

≪以 上≫